

平成23年3月29日

南海電気鉄道株式会社

ドアの取り扱い誤りについて

昨日（3月28日）高野線・林間田園都市駅で、ホームが無い側の列車のドアを開けてしまうという取り扱い誤りが発生しましたので、以下にご報告いたします。

1.発生日時

平成23年3月28日（月）21時53分

2.発生場所

高野線・林間田園都市（りんかんでんえんとし）駅

【所在地：和歌山県橋本市三石台一丁目1番地1】

3.当該列車

難波（21時00分）発 林間田園都市行き（下り）急行 8両編成

4.乗車人員（当該駅での降車人員）

約100人

5.概要

当該列車は林間田園都市駅に到着後、車掌が正常にホーム側のドアを開け、お客さまが降車されました。

その後、当該列車は当駅で折り返しとなるため、運転士が戸閉切替スイッチを切り替えたとき、本来は「閉」となっているべき運転士側の車掌スイッチ（ドア開閉スイッチ）が「開」となっていたため、その瞬間ホームが無い側のドアが開いてしまいました。（ホームが無い側のドアが開いたのはホーム側のドアが開いてから約10秒後のことです）

運転士はすぐに戸閉切替スイッチを元に戻して、ホームが無い側のドアは閉まりました。

当該列車は運転士・運転士見習・車掌の3名が乗務。

ご乗車のお客さまに転落やお怪我をされた方はいらっしゃいません。

当事故による列車の遅延はございません。

6.原因

当該列車の前運用の列車が難波駅到着時に、その時の車掌が車掌スイッチを本来「閉」にしておくところ、「開」にしたままであったため。

7.今後の対策

監督者が終着駅で乗務員の作業手順を監視します。

運転台に注意喚起を記したシールを貼付します。

以上